

学院部「仏教各宗（天台）」浅田正博

最初に教判論とは何かの解説をして、その後、教判論の代表とされる天台教判の五時八教の概説を行いたい。テキストとして関口真大編『天台四教儀』を用いる。この書は全て漢文で書かれており、江戸時代より天台教学の入門書とされてきた。よって伝統教学の上に立った天台教判論を学ぶことを目的とする。それにはまず漢文が読めなければならない。

今日、仏教を学ぶ時、書き下し文を主とした聖典を依用する人が多くなってきたが、これでは経典・論疏の真意を追求することは出来ない。とにかく漢文を読むことが仏教を学ぶ第一歩でなければならない。その意味においても本書をテキストとして使用したい。